

乳幼児健診後の長期追跡調査成績

竹本泰一郎（長崎大学医学部）

長崎県下において人口移動の少ないK地域をえらび、乳幼児期の母子健康管理票の保存されている小児を追跡調査し、中学生の時点での健康状況との関連を検討した。

K中学校在学中の491名中、乳幼児期の母子健康管理票の保存されている者は260名（58.2%）

であった。うち出生時、早期新生児期に異常があった者は、帝切（4例）、交換輸血（4例）、低出生体重（16例）を含めて36例（13.8%）であり、乳児期に何らかの異常、疾病を指摘されていた者は44例（16.9%）、3歳児健診時の異常は23例（8.8%）であった。しかし中学生時に障害、疾病を認めた者はなかった。

乳幼児期の軽度の異常で成人後にまで影響を残すものは少ないことが示された。

表1 縦断的な追跡の経過

出生年	S42.4-43.3	S43.4-44.3	S44.4-45.3	Total
母子健康管理票 発行数 (母子健康センター)	122	84	80	286
	↓ 15 (12.3%) ↳ 転出による脱落	↓ 5 (6.0%)	↓ 6 (7.5%)	↓ 26 (9.1%)
1982年6月現在 琴海中学在学	107 (87.7%) [中3:男54 女53]	79 (94.0%) [中2:男44 女35]	74 (92.5%) [中1:男37 女37]	260 (90.9%) [男135 女125]
琴海中学在学 生徒総数	中 3:168	中 2:166	中 1:157	491
母子健康管理票が 発行されていたものの割合	63.7%	47.6%	47.1%	58.2%

表2 出生時月数の分布

	~8か月	9か月	10か月	計
男	0	6 (4.4%)	129 (95.6%)	135
女	0	1 (0.8%)	124 (99.2%)	125

表3 出産・早期新生児期の異常

	男 (出生数)	女 (出生数)	計 (出生数)
	135	125	260
(出産時)			
児頭骨盤不均衡	1 (0.74)	0	1 (0.38)
骨盤位	2 (1.48)	0	2 (0.77)
出血	1 (0.74)	2 (1.6)	3 (1.15)
胎盤の異常(詳細不明)	2 (1.48)	1 (0.8)	3 (1.15)
帝王切開	3 (2.22)	1 (0.8)	4 (1.54)
早期破水	0	1 (0.8)	1 (0.38)
吸引分娩	0	2 (1.6)	2 (0.77)
計	9 (6.67)	7 (5.6)	16 (6.15)
(生下時体重)			
低出生体重 (2500g未満)	10 (7.4)	6 (4.8)	16 (6.15)
(早期新生児期)			
交換輸血	1 (0.74)	3 (2.4)	4 (1.54)

() : 出生数に対する割合 (%)

表4 乳児期の異常Ⅰ

日常的な健康障害（障害の指摘されたのべ回数）

時 期	1-6.9カ月		7.0-14.0カ月	
	男	女	男	女
湿疹, その他の皮膚についての訴え	回 42 (7.0) %	回 43 (8.1) %	回 34 (4.1) %	回 43 (5.6) %
風邪, その他の呼吸器の訴え	25 (4.2)	23 (4.3)	46 (5.5)	35 (4.6)
下痢, 消化不良等消化器の訴え	5 (0.8)	9 (1.7)	11 (1.3)	15 (2.0)
そ の 他	1	0	1	0
計	73 (12.2)	75 (14.1)	91 (10.8)	93 (12.1)
のべ相談数	599	532	839	769

注：（ ）内はのべ相談数〔Σ各人の相談数〕に対する比率（％）

表5 乳児期の異常Ⅱ（Ⅰに示した以外のもの）

時 期	1-6.9カ月		7.0-14.0カ月	
	男	女	男	女
感 染 症 { 麻 疹 { その他	人 3 (2.2) %	人 0 %	人 11 (8.1) %	人 7 (5.6) %
	0	0	1 (0.7)	3 (2.4)
整形外科的異常 { 開排制限 { 内反足 { その他	0	4 (3.2)	0	0
	1 (0.7)	0	1 (0.7)	2 (1.6)
	0	2 (1.6)	2 (1.5)	1 (0.8)
外科的異常 { ヘルニア { そ の 他	0	0	1 (0.7)	0
	0	1 (0.8)	2 (1.5)	2 (1.6)
発育・発達の異常	2 (1.5)	0	2 (1.5)	3 (2.4)
神経学的異常	0	0	0	1 (0.8)
事故・外傷	0	0	1 (0.7)	2 (1.6)
そ の 他	1 (0.7)	0	1 (0.7)	1 (0.8)
計	7 (5.2)	7 (5.6)	22 (16.3)	22 (17.6)
全 体 人 数	135 (100.)	125 (100.)	135 (100.)	125 (100.)

注：（ ）内はコホート全体の人数に対する割合（％）

表6 3歳児健診時の異常

	男	女
扁桃腺肥大	8 (5.9)	3 (2.4)
湿 疹	1 (0.7)	0
結膜炎	0	1 (0.8)
口角炎	0	1 (0.8)
先天性脱臼	0	1 (0.8)
X 脚	1 (0.7)	0
交通事故後遺症	2 (1.5)	0
言語発達遅延	2 (1.5)	0
詳細不明の要指導・要精密	0	2 (1.6)
その他	1 (0.7)	0
計	15 (11.1)	8 (6.4)
全体人数	135 (100.0)	125 (100.0)

表7 身 体 発 育

		出 生 児			3 歳 児		
		N	MN	SD	N	MN	SD
体重	男	135	3152.5	424.5	68	13.6	1.69
	女	124	3065.9	424.7	60	13.2	1.39
身長 (cm)	男	131	49.7	2.73	68	93.5	4.02
	女	120	49.1	2.36	60	92.5	3.55
胸囲 (cm)	男				67	52.5	5.45
	女				60	50.8	2.13
う歯数	男				75	6.2	4.8
	女				71	6.9	5.7

注：3歳児健診については、出生年が昭和42.4~43.3（中学3年）の群で管理票に身体計測値の記載のないものが、半数以上を示したので、この群をのぞき、昭和43.4~45.3（中1、2）の群についての値を示した。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



長崎県下において人口移動の少ない K 地域をえらび,乳幼児期の母子健康管理表の保存されている小児を追跡調査し,中学生の時点での健康状況との関連を検討した。